

茅丸回 明之會

平成十九年五月六日(土)三時始
於・喜多六平太記念能樂堂

東京都品川区上大崎四一六一九
☎〇三(三四九一)八八一三

通小町

仕舞

梅若万三郎

竹の子

狂言

野村 萬齋

七騎落

能

加藤 眞悟

第九回 加藤真悟 明之会

平成十九年五月六日(日)二時始
於・喜多六平太記念能楽堂

解説

表 きよし
(国士館大学教授)

(二時三十分頃)

和 國

独 吟

梅若万佐晴

通 小 町

仕 舞

梅若万三郎

休憩 二十分

竹の子

狂 言

シテ 藪 主 野村 萬斎
アド 畑 主 深田 博治
アド 仲裁人 月崎 晴夫

(三時二十分頃)

七 騎 落

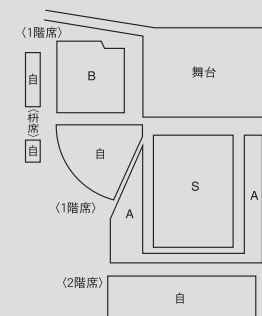
能

シテ 土肥実平 加藤 真悟
ツレ 源 頼朝 梅若 紀長
ツレ 田代冠者 古室 知也
ツレ 新開次郎 青木 健一
ツレ 土屋三郎 中村 裕
子方 土肥遠平 加藤 慎朗
ツレ 岡崎義実 中村 裕
ツレ 和 田義盛 安田 登
ワキ 船 幸 野村 萬斎
アキ アイ 船 幸 野村 萬斎
大鼓 小鼓 松田 弘之
笛 幸 野村 弘之
後見 梅若万三郎 青木 一郎
梅若万佐晴 梅若万三郎

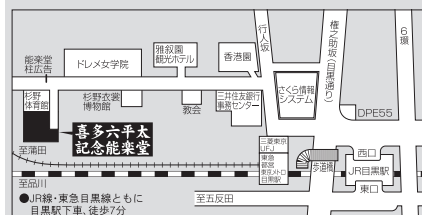
主催 加藤真悟 明之会

(終了予定四時二十分頃)

【入場料】
指定席 S 八、〇〇〇円
指定席 A 七、〇〇〇円
指定席 B 六、〇〇〇円
自由席 五、〇〇〇円
学生席 三、〇〇〇円



【お問い合わせ・お申し込み】
加藤真悟 FAX 045(481)8704
ホームページ http://shingo-front.jp
携帯Eメール shingo55kato@ezweb.ne.jp
梅若研究会 TEL 03(3466)3041



【明友の会会員募集】
入会金 一、〇〇〇円
年会費 一、〇〇〇円
特典
・明之会公演の入場料1割引 (一会員 三席まで)
・会報や演能、勉強会のお知らせなどお届けします

竹の子のこ 畑主が、自分の畑に竹の子が生えたのを喜び引き抜いて
いと、足の悪い隣の藪主が棒をついて見回りに来る。藪
主は藪の根から出たものだから自分の物だとながめる。二
人が争っているところへ仲裁人がとめに入る。畑主はそれなら先ごろ自分
の牛が藪主の馬屋で産んだ小牛を返せと要求する。二人とも引かないので
仲裁人は歌争いで勝負をするよう提案するが勝負がつかず、次に相撲をと
ることになるが……

七 騎 落

しちきおち はじめに、頼朝(ツレ)と
が土肥実平(シテ)と
ツレや子方を従えて登
場し、名乗り入ります。石橋山の戦いに敗れ、
船で真鶴から安房(あわ)に逃れよう
とするところです。

ここで、頼朝が「八人は縁起が悪い
ので一人降ろせ」と言いだします。実
平は困り果て、岡崎義実(ツレ)に降
りてくれと頼みますが、「おれが年寄り
だから役に立たないというのか」と反
論されます。「そうではなくて、乗って
いる場所が陸に近いので」と弁解すると、
さらに「命二つ持ちたるものが一つ降
ろせばよからう。わしは昨日までは、
命を二つ持っていたが、石橋山の合戦
で息子を亡くした。おまえは、親子で
二つの命持っているではないか」と詰
めよられます。そこで実平は、息子遠
平(子方)に降りると命じますが、「わ
たしは若いがお役にたちたいという
気持ちには誰にも劣りません」と反論さ
れます。実平は「父の命令に従えないなら、斬って捨てる」とまで言い
切ります。そこを義実に「君の門出になんと言うことを」となだめられ、
「それでは、わしが降りよう」と云うと、とうとう息子の遠平が「いや、
わたしが降ります」と観念し、結局、遠平を降ろして船出をします。



昭和31年4月研究会 シテ 梅若万三郎 頼朝 梅若万紀夫(現万三郎) 子方 梅若万佐晴

やがて船出した一行に別の船が近づき、和 田義盛(ワキ) が登場しま
す。義盛とは、旗揚げの約束はしていたものの、石橋山の合戦には参加
せず、裏切らない保証はありません。実平は頼朝を隠し、「われわれも君
を探している」と言います。義盛はがっかりして、「生きる価値もない」
と自害しようとするので、実平は「今のは戯言だ、陸にあがって対面し
ましょう」と、一緒に船を着けます。義盛はさきほどの戯言の仕返しに
「今まで黙っていたが」と、船底に隠していた遠平を連れ出し、対面させま
す。一同は喜び、義盛の求めに応じて実平が舞を披露し、武家の世を讃え
ます。

能を知る
愉しみ

能楽体験講座
能の話、謡と舞の基本の型の体験をします
『鶴亀』を謡ってみよう

日 時 ■平成19年5月15日、6月5日・19日、7月3日・17日(各火曜)の午後6時~7時30分
会 場 ■本行寺(J R日暮里駅西口1分)
講 師 ■加藤真悟
受講料 ■10,000円(5回)、教材費 2,100円
●ご予約・お問い合わせ ☎045-481-8704 加藤 真悟

表紙写真「七騎落」二世梅若万三郎 撮影・前島久男